

このメールは当協会会員に登録されている方、当協会職員と名刺交換いただいた方、当協会主催の事業にご参加された方に配信しております。
今後配信を希望されない方は、お手数ですが[メール配信の停止]より配信停止の手続きをお願い申し上げます。

<目次>

▼最近の動向から▼

第 108 回 「IFRS（国際財務報告基準）」

▼JILS 総合研究所からのお知らせ▼

「物流現場で働く中堅管理者（現場主任・リーダー）育成の手引き」

▼ロジスティクス大賞のお知らせ▼

「2010 年度 ロジスティクス大賞」 申込締切迫る！ 応募受付中！

▼展示会▼

「豊かな未来を拓くロジスティクスイノベーション
～環境調和とグローバルイノベーション～」
「国際物流総合展 2010」 出展申込締切日迫る！

▼大会▼

～明日の現場改善は、この大会から始まります～
「全日本物流改善事例大会 2010」 参加申込 締切迫る！

▼講座・セミナー・研究会▼

- 【01】～物流スペシャリストの育成を図る わが国唯一の物流専門講座～
「2010 年度 物流技術管理士資格認定講座」
- 【02】～ロジスティクスの基礎を体系的に学ぶ 4 日間～
「2010 年度 ロジスティクス基礎講座」
- 【03】～最先端の事例・理論の吸収を通して 新しいロジスティクスの価値を創造する～
「ロジスティクスシステム研究会」2010 年度参加メンバー募集

<<配信停止、変更の手続きは末尾をご参照ください>>

★

■最近の動向から（第 108 回）■
>> IFRS（国際財務報告基準） <<

★

ここでは、JILS 総合研究所の調査研究、標準化活動や各種委員会動向等から、最近のホットな話題を適宜ピックアップして配信致します。

企業会計審議会（金融庁）が、昨年 6 月 30 日に「我が国における国際会計基準の取扱いに関する意見書（中間報告）」を発表し、IFRS（International Financial Reporting Standard）との整合性確保の必要性を提言して以来、IFRS の国内サプライチェーンに及ぼす影響への対応が話題になるようになってきました。業務の現場にも情報システムにも影響が予想され、関連するセミナーも増えてきました。

さらに、金融庁は、国際会計基準審議会（IASB：the International Accounting Standards Board）が 2009 年 7 月 1 日から同年 12 月 31 日までに公表した国際会計基準（ここに IFRS の初度適用が含まれています）を、連結財務諸表の用語、様式及び作

成方法に関する規則第 93 条に規定する指定国際会計基準とする旨を、2010 年 3 月 10 日付（号外第 49 号）の官報「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則に規定する金融庁長官が定める企業会計の基準を指定する件の一部を改正する件（金融庁 26）」で告示しています。

米国のロジスティクス団体（GSCMP: Council of Supply Chain Management Professionals）の旬刊誌（2010 年 Q1）でも特に米国の会計基準（GAAP: Generally Accepted Accounting Principle）との比較を中心に、サプライチェーンへの影響を評価しています。そこでは、IFRS の適用は、国際的に事業展開している大企業にとっては最も有効であり、グループ全体の適正な企業価値評価や買収・再編に伴う統一的な評価基準の適用が可能になると評価しています。

サプライチェーンに関連する影響項目を我が国の会計基準との相違点も含めて、いくつか紹介すると以下のように指摘されています。

- 1) 売上計上（収益認識）は、物品の所有リスクと経済価値の移転時点ですので出荷売上が着荷売上に変更になります。証跡確保のため納品伝票の確保が重要になります。我が国は、商品センター納入でも所有権が移転していない場合もあります。輸出でも船積み時点ではなく輸出先指定場所納品時点となりますので収益認識時点の判断が重要になります。また、値引きやリベートは、それを反映した評価が必要になります。さらに、酒税などを含めた収益や売上原価の表示は認められません。
- 2) 棚卸資産の後入先出法や最終仕入原価法は、IFRS では禁止されます。IFRS では原価配分方法は、個別法、仕入法、加重平均法を用いますのでそれ以外の方法を適用している場合は整合性確保が必要になります。期末の測定方法では、たな卸資産の低価法評価損は、日本では洗替法と切り放し法の選択ですが、IFRS では洗替法の適用になります。期末棚卸資産の評価減の処理等に影響が出ます。いずれにしても長期在庫、死に筋在庫、破損品、不文律の供給契約等の会計負債を見直す必要があります。
- 3) 企業の統廃合に伴う商標や販売権など資産計上した無形資産や「のれん」の計上、その償却額の計算方法が異なり毎期減損テストを行う必要があります。また、減価償却では、国内では法人税法規定の耐用年数表の適用が多いようですが、IFRS では実際の使用期間の見積りが必要になります。既存のパフォーマンス指標にも大きく影響します。

いずれにしても先行適用した欧州やオーストラリアの例では IFRS 適用に予想以上の時間と人材を必要としたと報告されていますので、検討のための十分な余裕期間を見込んで各種シミュレーションを行う必要があるようです。

企業会計審議会資料は、下記ウェブサイト参照。

<http://www.fsa.go.jp/news/20/20090630-4.html>

金融庁のパブコメ結果は、下記参照。

<http://www.fsa.go.jp/news/21/sonota/20100303-1.html>

IASB のウェブサイトは、下記参照。

<http://www.iasb.org>

IASB 資料の和文詳細は、公益財団法人 財務会計基準機構の下記ウェブサイト参照。

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/iasb/ed/comments20090528.jsp

【問合せ先】 JILS 総研 吉本 yoshimoto@logistics.or.jp

▼JILS 総合研究所からのお知らせ▼

★-----

「物流現場で働く中堅管理者（現場主任・リーダー）育成の手引き」
をご活用ください。

★-----

既存の職業能力評価基準を参考に、物流現場で働く中堅管理者（現場主任・リーダー）を育成する手順をまとめた、手引きを作成しました。

下記、ホームページより、ファイルをダウンロードすることができます。

「物流現場改善推進のための手引書」とともに、ご活用ください。

【目次】

1. 手引きの活用にあたって
2. 人材育成の手順について
3. 評価シートの構成
4. 評価シートを活用した中堅管理者（現場主任・リーダー）の育成手順

【入手先】

<http://www.logistics.or.jp/fukyu/experience/convention/kaizennotebiki.html>

▼ロジスティクス大賞のお知らせ▼

★

■2010年度 ロジスティクス大賞■ 応募のご案内

<締切：2010年4月16日（金）>

申込締切迫る！ 応募受付中！

★

JILSでは、ロジスティクス推進に向けて優れた実績をあげた企業を表彰する「ロジスティクス大賞」を設けております。

「ロジスティクス大賞」は、ロジスティクスの社会的浸透と、ロジスティクス部門関係者の意識高揚を図ることを目的に創設されたもので、企業で行われているロジスティクス高度化への取り組みと、その優れた実績を顕彰するもので、今回で第27回を迎えます。

ロジスティクスシステムの高度化が経営戦略のうえで重要課題として取り込まれている昨今、各企業においては、情報共有化によるサプライチェーンマネジメントの構築、最適地調達・最適地生産など企業活動のグローバル展開に伴うネットワークの整備、環境調和型ロジスティクスの構築と普及による循環型社会の実現など、様々な取り組みがなされております。

このような企業のロジスティクスの高度化への取り組みと、その優れた実績を公的に顕彰することは、新たな挑戦目標を生み出す刺激となり、当該企業のみならず、広く産業界の関係者にとって極めて有意義なことであります。

ぜひ、貴社からの積極的なご応募をお待ちしております。

【応募要領】

1. 申込み ※受付締切日：2010年4月16日（金）
 - ・日本国内に事業所を有する企業・機関・団体。（自薦、他薦は問いません。）※応募用紙、推薦書は下記URLよりダウンロードしてください。
 - ・申込書に必要事項をご記入のうえ、「会社案内」または「事業案内」とともに事務局宛にご郵送ください。折り返し、「論文作成要領」をお送りいたします。
2. 提出書類 ※提出締切日：2010年5月21日（金）
 - (1) アブストラクト
 - (2) 論文

※詳細につきましては、こちらをご覧ください。

http://www.logistics.or.jp/fukyu/prize/g_prize/index.html

【問い合わせ先】普及開発部 松井

e-mail:matsui@logistics.or.jp

TEL：03-5484-4021

▼展示会▼

★

「豊かな未来を拓くロジスティクスイノベーション
～環境調和とグローバルゼーション～」

■『国際物流総合展2010』出展者募集中！■

★

内外の最新物流機器・システム・情報等のソフトとハードを一堂に結集し、交易振興・技術の向上・情報の提供・人的交流等を促進することを目的に「国際物流総合展 2010」を開催いたします。

今回は「豊かな未来を拓くロジスティクスイノベーション ～環境調和とグローバルイノベーション～」をテーマに、2010年9月14日（火）～17日（金）の4日間、東京ビッグサイトにて開催を予定しております。

アジア最大の物流機器・システムの展示会である本展示会へ、関係各位の積極的なご出展をお待ちしております。

【国際物流総合展 2010 開催概要】

■会期：2010年9月14日（火）～17日（金）4日間 10:00～17:00

■会場：東京ビッグサイト 東2・3・4・5・6ホール

■展示予定規模：400社 1,800小間

■入場予定者数：125,000人

■出展対象：

- 保管機器システム ○仕分けシステム ○ピッキングシステム
- 搬送システム ○産業車両 ○運搬車両
- トラック・特装車両 ○パレット・コンテナ ○包装システム
- サードパーティロジスティクス ○情報機器・ソフトウェア
- エンジニアリング・コンサルティング ○保管・輸送サービス
- 物流機器部品 ○物流関連環境システム
- 物流施設開発・投資 ○企業誘致・港湾 空港利用促進
- 出版・団体

☆「トラック輸送」「包装」「グローバルロジスティクスソリューション」の3つの分野にフォーカスした、集中展示コーナーを開催いたします。

【安全で環境にやさしいトラック輸送】

【環境にやさしい包装システム】

【グローバルロジスティクスソリューション】

詳細は国際物流総合展のホームページをご覧ください。

<http://www.logis-tech-tokyo.gr.jp/>

【お問い合わせ】 普及開発部：松井・星野

▼大会▼

★-----

■全日本物流改善事例大会 2010 ■ 参加申込 締切迫る！

～明日の現場改善は、この大会から始まります～

会期：2010年4月22日（木） 会場：大手町サンケイプラザ

★-----

【参加のおすすめ】

全日本物流改善事例大会は、優れた物流改善の事例を発表し、合理化の手がかりやノウハウを物流の実務者同士が共有し合う交流の場です。

関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

【発表内容】

今回の大会では、物流現場改善に意欲的な取り組みを行っている19の「優秀事例」の発表を通じて、今後の物流現場改善活動の推進に大きく貢献するプログラムとなっております。

物流センター等での現場改善を対象とした「物流業務部門」と運営・管理部門での改善を対象とした「物流部門管理」における改善事例を、各領域において発表いたします。

【参加特典】

「物流現場で働く中堅管理者（現場主任・リーダー）育成の手引き」を特別に進呈いたします！

今回は、前回の「物流業務部門」に引き続き、「物流管理部門」において発表予定の改善テーマをご紹介します。

【物流部門 発表テーマ（9事例）】

- QRコードを利用した一元管理システムの構築による管理業務の生産性向上とドラム購入費用削減
- カスミ中貫 DC 出荷物のジャストインタイム化による保管在庫物量の抑制
- 物流業務と在庫管理を統合管理する『しくみ』を使った在庫回転率の大幅改善
- 酸化亜鉛梱包フレコンの管理方法の改善と輸送コスト削減への取り組み
- 幹線便輸送を利用した配送ネットワーク構築による物流コスト削減の取り組み
- 新規業務開始に伴う倉庫内作業改善及び品質向上の取り組み
- 人材品質の強化 ～評価指標の統一による活動意識の向上～
- 配送手段の見直し・配送網の整備による最適化
- センター再編へのステップ、ギフト包装生産性向上への挑戦

※プログラム内容の詳細・お申込は下記URLをご確認ください。

<http://logistics.or.jp/fukyu/experience/convention/zennihonkaizen2009kaisai.html>

【問い合わせ先】普及開発部 松井、星野

e-mail:matsui@logistics.or.jp

▼講座・セミナー・研究会▼

★-----
～物流スペシャリストの育成を図る わが国唯一の物流専門講座～
－東京・名古屋・大阪－

■2010年度 物流技術管理士資格認定講座 受講申込を受付中■

★-----
JILSは、2010年度物流技術管理士資格認定講座（第84期～第89期）の各期受講申込を受け付けております。

【開催日程】

- ・第84期 東京 2010年5月11日(火)～2010年11月12日(金)
パンフレット(PDF 866KB)
http://www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2010/10h_BA1001_clm84.pdf
- ・第85期 大阪 2010年6月3日(木)～2010年12月17日(金)
パンフレット(PDF1.24MB)
http://www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2010/10k_KA1001_clm85.pdf
- ・第86期 東京 2010年7月13日(火)～2011年2月10日(木)
- ・第87期 名古屋 2010年9月2日(木)～2011年3月4日(金)
- ・第88期 東京 2010年9月9日(木)～2011年3月18日(金)
- ・第89期 大阪 2010年10月5日(火)～2011年3月25日(金)

※面接試験/認定証授与式を除く受講日数は上記期間中の全21日間

定員：東京140名/名古屋・大阪各80名
受講料：会員企業 47万2500円/非会員 57万7500円

■詳細とお申し込みは下記URLを参照ください。
<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html#clm>

★-----
～ロジスティクスの基礎を体系的に学ぶ4日間～
－東京・名古屋・大阪－
■2010年度 ロジスティクス基礎講座 受講申込を受付中■

★-----

J I L Sは、2010年度のロジスティクス基礎講座（第22期～第25期）の各期受講申込を受け付けております。

【開催日程】

- ・第27期 大阪 2010年4月13日～14日・5月11日～12日
パンフレット(PDF 514KB)
http://www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2010/10k_KA1004_lbsc27.pdf
- ・第28期 東京 2010年5月18日～19日・6月15日～16日
パンフレット(PDF 100KB)
http://www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2010/10h_BA1005_lbsc28.pdf
- ・第29期 名古屋 2010年6月8日～9日・7月13日～14日
- ・第30期 東京 2010年10月5日～6日・11月16日～17日

※受講日数は上記期間中の全4日間

定員：東京80名／名古屋・大阪各50名
受講料：会員企業8万4000円／非会員9万9750円

■詳細とお申し込みは下記URLを参照ください。
<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html#lbsc>

★-----
～最先端の事例・理論の吸収を通して新しいロジスティクスの価値を創造する～
■「ロジスティクスシステム研究会」2010年度参加メンバー募集■

★-----
ロジスティクスシステム研究会は、ロジスティクスをシステムとして捉え、
①最先端の事例、理論を学び、実務への応用を図る
②新たなロジスティクスの価値を創造する
③ロジスティクス領域の人材を育成する の3点に主眼を置いています。
具体的には、SCMを基本軸に「ロジスティクスマネジメント」「ロジスティクスの最適化」「ロジスティクスと経営戦略」「情報システム&IT」「在庫削減、最適化」「ロジスティクスの社会的責任」「3PL」などに焦点を当てながら研究を進めます。

【会期】 2010年5月18日(火)～2011年3月 各回14:00～17:00(2テーマ発表)
／合計10会合+現場見学会(オプション企画)

【会場】 東京都内会場(合宿、見学会は除く)

【定員】 30名(予定)

【参加料】 JILS会員：73,500円(税込)

※JILS会員外の方でご参加をご検討、希望される際は、事務局まで
ご相談ください。

【問合先】 本部 顧客サービス部 TEL：03-5484-4021

※プログラムの詳細は下記URLをご参照ください。
<http://www.logistics.or.jp/member/toroku/index.html>

■-----
発行：社団法人日本ロジスティクスシステム協会
〒105-0014 東京都港区芝2-28-8 芝2丁目ビル3F
TEL 03-5484-4021 FAX03-5484-4031
<http://www.logistics.or.jp/>
